



キラップ® フロアブル

うまい汁は吸わせない！



オオトゲシラホシカメムシ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



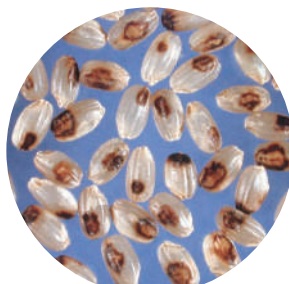
ミナミアオカメムシ



アカスジカスミカメ



製品情報は
こちら



カメムシ吸汁による斑点米

- アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメなどカメムシ類に対して優れた効果を発揮します。
- カメムシ類防除で収穫物(米)の等級に影響する斑点米の発生を抑制します。
- イナゴ類、イネドロオイムシにも高い効果を示します。

■ 適用害虫および使用方法（一部抜粋）

2023年4月現在の登録内容

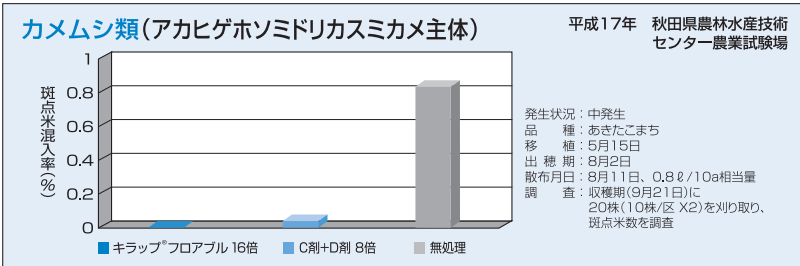
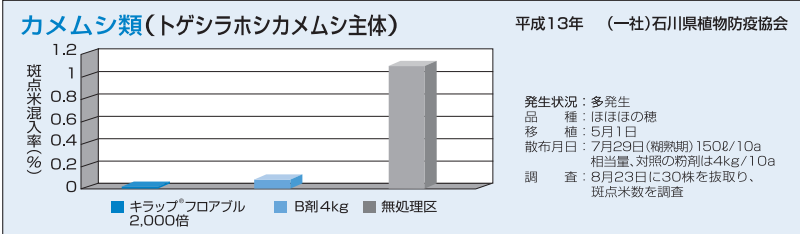
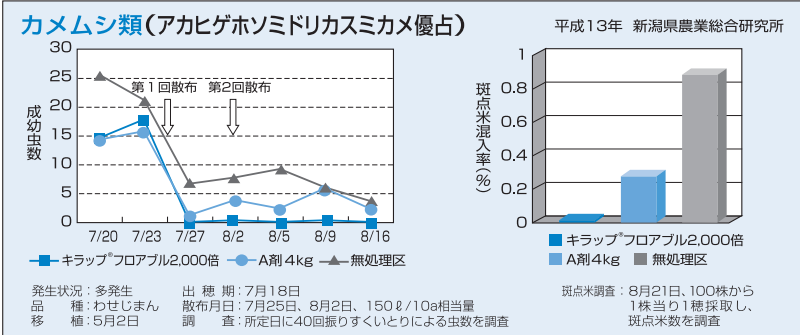
作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	使用回数*		使用方法
						本剤	エチプロール	
稲 (育苗箱)		イネドロオイムシ	100~200	育苗箱(30X60X3cm、 使用土壌約5ℓ)1箱当たり0.5ℓ	移植3日前~ 移植当日	1回	2回 (移植時までの 処理は1回)	灌注
稲	—	イナゴ類	2,000 1,000~2,000	60~200ℓ/10a	収穫14日前まで	2回	2回 (は種時(直播) または 移植時までの 処理は1回)	散布
		ウンカ類	500	25ℓ/10a				空中散布
		カメムシ類	8~16	0.8ℓ/10a				無人ヘリコプターによる散布
		イネドロオイムシ	2,000 500	60~200ℓ/10a 25ℓ/10a				散布
だいず			16	0.8ℓ/10a	収穫7日前まで			無人ヘリコプターによる散布
えだまめ				100~300ℓ/10a	—			
水田作物 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、ススキ、 セイタカアワダチソウ 等の多年生雑草が 優占している休耕田	カメムシ類	2,000	60~200ℓ/10a	—		2回	散布

*印は収穫物の残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

*その他適用作物にかんきつ、りんご、かき、マンゴー、茶があります。

■ 試験事例

●アカヒゲホソドリカスミカメに対しては、出穂の7~10日後およびその7~10日後が散布適期です。(各地で推奨されている散布時期に従ってご使用下さい。)



■ 混用事例(水稲での散布)

殺虫剤	通常散布	少量(25ℓ)散布
アプロード水和剤	●	
アプロードフロアブル	●	●
エクシードフロアブル	●	
エミリアフロアブル	●	
オーケストラフロアブル	●	
トレボン乳剤	●	

殺菌剤	通常散布	少量(25ℓ)散布	無人ヘリコプターによる散布
アミスターエイト	●		●
カスミン液剤	●		
カスミンバリダシン液剤			●
カスラブサイドゾル	●		●
ダブルカットフロアブル	●	●	
ダブルカットバリダフロアブル	●		
デラウスフロアブル			●
トライフロアブル	●		
ノンプラスフロアブル	●	●	
パンタックゾル	●		●
バリダシンエアー	●		●
バリダシン液剤5	●	●	
ビームエイトゾル	●		●
ビームエイトモンカットフロアブル	●	●	
ビームゾル	●	●	●
フジワシ乳剤	●	●	
ブラシン水和剤	●		
ブラシンゾル	●		●
ブラシンフロアブル	●	●	
ブラシンバリダゾル	●		●
ブラシンバリダフロアブル	●		
モンカットフロアブル	●	●	●
モンカット水和剤	●		
モンセレンフロアブル	●	●	●
ラブサイドバリダフロアブル	●		
ラブサイドフロアブル	●	●	●

※上記薬剤はキラップ®フロアブルとの混用によって、薬害が認められなかった事例です。なお、気象条件、栽培条件、品種などにより異なる結果が得られることも予想されます。上記事例は、使用の安全性を確保するものではなく、あくまでも参考事例としてお取り扱い下さい。

■ 使用上の注意事項(一部抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきって下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 散布液は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調整して下さい。
- 本剤を液において希釈倍数500倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる兼用型の上塗り式少量散布装置を使用して下さい。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布および空中散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
 - 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
 - 散布中、薬液漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
 - 散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
 - 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
 - 散布終了後は次の項目を守って下さい。
 - ①使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄して下さい。

- ②機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理して下さい。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の蜜にはかからないようにして下さい。蜜にかかった場合には25日以上経過してから給養して下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意して下さい。
 - ミツバチの巣箱およびその周辺に近づかないようにして下さい。無人ヘリコプターによる散布および空中散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないで下さい。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用を控えて下さい。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、容器は圃場などに放置せず適切に処理して下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。



●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropsience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00,13:00~17:00
土日祝日および会社休日を除く

F-1070 23.04.NY